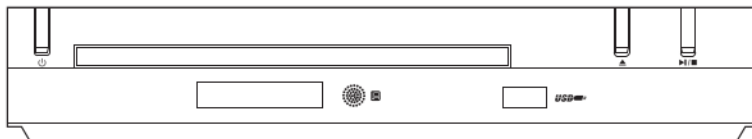


DVDプレーヤー

取扱説明書



プレーヤーをお使いになる前に取扱説明書をよくお読み下さい。

本製品はマクロビジョンコーポレーションその他が所有する合衆国著作権および知的所有権への技術特許申請により保護された著作権保護技術を搭載しています。この著作権保護技術の使用にはマクロビジョンコーポレーションの認可が必要であり、認可された者のみがこれを使用するものとします。リバース・エンジニアリングおよびディアッセンブリーは禁じられています。

目次

はじめに	1
使用上のお願ひ	6
ディスクの取り扱いと用語	7

ご使用にあたって	9
1. リモコンの準備と使用	9

操作インターフェース	10
1. フロントパネル	10
2. ディスプレイ	10
3. バックパネル	10
4. リモコン	11

システムの接続	12
1. HDMI端子付きテレビとの接続	12
1. テレビとの接続(AV入力)	13
2. テレビのS-VIDEO端子への接続	13
3. コンポーネント (Y, Cb/Pb, Cr/Pr)	
入力端子付きテレビの接続	14
4. 2chアンプとの接続	14
5. デジタルアンプとの接続	15
6. プログレッシブテレビとの接続	16

システム設定	17
1-1. TV設定	17
1-2. 画面表示言語	17
1-3. キャプション	18
1-4. スクリーンセーバー	18
1-5. レジューム	18
2-1. ダウンミックス	18
2-2. デジタル出力	19
3-1. ステレオモード	19
3-2. ダイナミックレンジ	19
4-1. コンポーネント	20
4-2. HDMI解像度	20
4-3. 画質	21
4-4. HDMI設定	21
5-1. 音声言語	22
5-2. 字幕言語	22
5-3. ディスクメニュー	22
5-4. 初期設定	22

基本操作	23
1. 電源を入れる	23
2. ディスクの挿入	23
3. ディスクの再生	24-25
4. トラックの頭出し	25-26
5. リピート	26
6. その他リモコンの使用法	26
USBメモリの使用	27
音楽ファイルの再生	28
動画ファイルの再生	29
JPEG画像ファイルの再生	30-31
メディア/ファイルについて	32
USBメモリーにCDの曲を録音する①	33
USBメモリーにCDの曲を録音する②	34
USBメモリー内データの削除	35

トラブルシューティング	36-37
HDMIについて	38
ブロックノイズについて	38
コピーコントロールCDについて	38
免責について	38


仕様	39
-----------	-----------

はじめに

本取扱説明書の内容について

この取扱説明書は、本機の基本的な操作のしかたを説明しています。

リージョン番号について

このDVDプレイヤーのリージョン番号は2です。DVDビデオディスクの再生限定地域を表すリージョン番号が表示されている場合には、そのリージョン番号マークの中に「」のように2が含まれているか、またはALLが表示されていないと、本機では再生できません。

(このとき画面に表示ができません)

DVDプレイヤー

1. 10ビットデジタルビデオコンバーターを採用、水平解像度は500本以上です。
2. 24bit/96KHzデジタルオーディオコンバーターを採用、高品質の音響効果と高性能のハイファイレベルを実現しています。
3. コンポーネント映像信号出力、Sビデオ出力、コンポジット・ビデオ出力、光デジタル音声出力から選択可能です。
4. プログレッシブスキャン機能を搭載しています。
5. HDMI端子搭載
HDMIケーブル(付属)を使用してテレビとモニターと接続すれば、ケーブル1本でより高品質な映像と音声のデータを伝送することができます。

96-KHz/24-bitデジタル/アナログ (D/A) コンバーター

最新の変換技術によりCDの2倍にあたるサンプリング周波数96KHz、ビット数24のソフトウェアに対応、歪みのない高品質な音響を実現しています。

デジタル音声出力

光デジタル音声出力により外部のAVアンプに接続できます。

コンポーネント映像出力



コンポーネント映像出力 (Y、Cb、Cr) によってDVDのリアルな効果を得ることができます。ノイズのない、本来の美しいカラー信号を実現します。

はじめに

安全上のご注意







- ご使用前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください。
- この「安全上のご注意」が守られていない場合は、保証致しかねます。






■表示の説明

表 示	表 示 の 意 味
 警告	“取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷(*1)を負うことが想定されること”を示します。
 注意	“取扱いを誤った場合、使用者が傷害(*2)を負うことが想定されるか、または物的損害(*3)の発生が想定されること”を示します。











- * 1 : 重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
- * 2 : 傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが・やけど・感電などをさします。
- * 3 : 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。

■図記号の例











図 記 号	図 記 号 の 意 味
	“  ”は、禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
	“  ”は、指示する行為の強制（必ずすること）を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
	“  ”は、注意を示します 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

異常や故障のとき	 警告
煙が出たり、変なにおいがしたりするときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜くこと そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。煙が出なくなるのを確認し、お買い上げの販売店にご連絡ください。	 電源プラグを抜く
内部に水や異物が入ったら、すぐに電源プラグをコンセントから抜くこと そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。お買い上げの販売店に点検をご依頼ください。	 電源プラグを抜く
落としたり、キャビネットを破損したりしたときは、すぐに電源プラグをコンセントから抜くこと そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。お買い上げの販売店に点検をご依頼ください。	 電源プラグを抜く
電源コードが傷んだり、電源プラグが発熱したりしたときは、すぐに電源を切り、プラグが冷えたのを確認してコンセントから抜くこと そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。電源コードが傷んだら、お買い上げの販売店に交換をご依頼ください。	 電源プラグを抜く

はじめに

設置されるとき	 警告
屋外や風呂、シャワー室など、水のかかる恐れのある場所には置かないこと 火災・感電の原因となります。	 水ぬれ禁止
電源プラグは交流100Vのコンセントに接続すること 交流100V以外を使用すると、火災・感電の原因となります。	 指示
ぐらつく台の上や傾いた所など、不安定な場所や振動のある場所に置かないこと 本機が落ちて、けがの原因となります。	 禁止
上に物を置かないこと 金属類や、花びん・コップ・化粧品などの液体が入った場合、火災・感電の原因となります。 重いものなどが置かれて落下した場合、けがの原因となります。	 上載せ禁止
ご使用になるとき	
修理・改造・分解をしないこと 火災・感電の原因となります。 点検・調整・修理はお買い上げの販売店にご依頼ください。	 分解禁止
ディストレイなどから異物を入れないこと 金属類や紙などの燃えやすい物が内部に入った場合、火災・感電の原因となります。 特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。	 異物挿入禁止
雷が鳴りだしたら、本機に触れないこと 感電の原因となります。	 接触禁止
電源コードは ・傷つけたり、延長するなど加工したり、加熱したりしないこと ・引っ張ったり、重いものを載せたり、はさんだりしないこと ・無理に曲げたり、ねじったり、束ねたりしないこと 火災・感電の原因となります。	 禁止
お手入れについて	
電源プラグの刃や刃の取り付け面にゴミやほこりが付着している場合は、電源プラグを抜き ゴミやほこりをとること 電源プラグの絶縁低下により、感電の原因となります。	 指示

はじめに

設置されるとき	 注意
温度の高い場所に置かないこと 直射日光の当たる場所・締め切った自動車内・ストーブのそばなどに置くと、火災・感電の原因となることがあります。また破損、その他部品の劣化や破損の原因となることがあります。	 禁止
湿気・油煙・ほこりの多い場所に置かないこと 加湿器・調理台のそばや、ほこりの多い場所などに置くと、火災・感電の原因となることがあります。	 禁止
風通しの悪い場所に置かないこと 内部温度が上昇し、火災の原因となることがあります。 ・壁に押しつけないでください。 ・押し入れや本箱など風通しの悪い場所に押し込まないでください。 ・テーブルクロス・カーテンなどを掛けたりしないでください。 ・じゅうたんやふとんの上に置かないでください。 ・あお向け・横倒し・逆さまにしないでください。	 禁止
移動させる場合は、電源プラグ・外部との接続線を外すこと 電源プラグを抜かずに運ぶと、電源コードが傷つき火災・感電の原因となることがや、接続線などを外さずに運ぶと、本機が転倒し、けがの原因となることがあります。	 指示
ご使用になるとき	
電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張って抜かないこと 電源コードを引っ張って抜くと、電源コードや電源プラグが傷つき、火災・感電の原因となります。必ず電源プラグを持って抜いてください。	 引っ張り禁止
ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないこと 感電の原因となります。	 ぬれ手禁止
旅行などで長期間ご使用にならないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜くこと 万一故障したとき、火災の原因となることがあります。	 電源プラグを抜く
ディスクトレイに、手を入れないこと 指をはさみ、けがの原因となることがあります。 特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。	 禁止
ひび割れ、変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しないこと ディスクは本機内で高速回転しますので、飛び散ってけがや故障の原因となります。	 禁止

はじめに

ご使用になるとき

注意

電源を入れる前には音量を最小にすること

電源を入れる前には、接続しているアンプなどの音量を最小にしておいてください。突然大きな音が出て聴覚障害などの原因となることがあります。



リモコンに使用している乾電池は

- ・ 指定以外の乾電池は使用しないこと
 - ・ 極性〔(+)と(-)〕を間違えて挿入しないこと
 - ・ 充電・加熱・分解・ショートしたり、火の中に入れてたりしないこと
 - ・ 乾電池に表示されている【使用推奨期限】を過ぎたり、使い切った乾電池をリモコンに入れたままにしたりしておかないこと
 - ・ 種類の違う乾電池、新しい乾電池と使用した乾電池を混ぜて使用しないこと
- これらを守らないと、液もれ・破裂などにより、やけど・けがの原因となることがあります。もし、液が皮膚や衣類についたときは、すぐにきれいな水で洗い流してください。液が目に入ったときは、すぐにきれいな水で洗い医師の治療をうけてください。器具に付着した場合は、液に直接触れないで拭き取ってください。



はじめに

◆使用上のお願い

◎取り扱いに関すること

■移動させるときは

引っ越しなどで、遠くへ運ぶときは、傷がつかないように毛布などでくるんでください。

■殺虫剤や揮発性のものをかけたりしないでください。また、ゴムやビニール製品などを長時間接触させないでください。変色したり、塗装がはげたりするなどの原因となります。

長時間ご使用になっていると天板や後部が多少熱くなりますが、故障ではありません。

■ふだん使用しないときは

必ず、ディスクを取り出し、電源スイッチを切っておいてください。

■長時間使用しないとき

機能に支障をきたす場合がありますので、ときどき電源を入れて、使用してください。

◎置き場所に関すること

■本機は水平な場所に設置してください。ぐらぐらする机や傾いている所など不安定な場所で使わないでください。ディスクが外れるなどして、故障の原因となります。

■本機をテレビやラジオ、ビデオの近くに置く場合には、本機で再生中、画像や音声に悪い影響を与えることがあります。万一、このような病状が発生した場合はテレビやラジオ、ビデオから離してください。

◎お手入れに関すること

キャビネットや操作パネル部分のよごれは柔らかい布で軽く拭き取ってください。

■よごれがひどいときは、布は水でうすめた中性洗剤にひたし、よく絞って拭き取り、乾いた布で仕上げてください。ベンジン、シンナーは絶対使用しないでください。変色したり、塗装がはげたりするなどの原因となります。

■化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書にしたがってください。

◎日本国内用です

本機を使用できるのは日本国内のみです。外国では電源電圧が異なりますので使えません。

◎結露（露付き）について

結露はディスクや本機を傷めます。よくお読みください。

○“結露”はこんなときおきます。

◇本機を寒いところから、急に暖かいところに移動したとき

◇暖房を始めたばかりの部屋や、エアコンなどの冷風が直接あたるところで使用したとき

◇夏季に、冷房のきいた部屋・車内などから急に温度・湿度の高いところに移動して使用したとき

◇湯気が立ちこめるなど、湿気の多い部屋で使用したとき

■結露がおきそうなときは、本機をすぐにご使用にならないでください。

結露がおきた状態で本機をお使いになりますと、ディスクや部品を傷めることがあります。ディスクを取り出し、本機の電源プラグをご家庭のコンセントに接続し電源を入れておくと、本機があたたまり、2～3時間で水滴をとります。またコンセントに接続しておくと“結露（露付き）”が生じにくくなります。

はじめに

◆ディスクの取扱いと用語

再生できるディスク

本機では、下記のディスクを再生することができます。

	マーク (ロゴ)	記録内容	ディスクの大きさ
DVDビデオディスク		映像 (動画)+音声	12cm
音楽用CD		音 声	12cm

また、以下のメディアも再生することができます。

- DVDビデオフォーマットのDVD-Rディスク
- CPRM/VRモードで地デジ放送を録画後ファイナライズ処理されたDVD-Rディスク
- ビデオモードでアナログ放送を録画後ファイナライズ処理されたDVD-Rディスク
- CD-DAフォーマット (音楽用CD) のCD-Rディスク
- MP3、MPEG4またはJPEG形式のファイルが記録されたCD-Rディスク

※上記のディスクであっても、録画されたDVDレコーダーとディスクと本機との相性により再生できない場合もありますので、予めご了承ください。

※パソコンにて録画されたディスク、DVDレコーダー以外の機器によって作成されたディスク、短い収録時間のディスクでは再生できない場合もありますので、予めご了承ください。

※H. 264/MPEG4AVC形式のファイルは非対応です。

※本機はNTSCテレビ方式に適合したプレーヤーです。他のテレビ方式 (PAL、SECAM) 表示のディスクには使用できません。

※DVD±R DLには対応していません。またMP3、MPEG4等のデータは状況により再生できない場合があります。ファイナライズ未処理ディスクは再生できませんので、ご注意ください。

■CPRMについて

CPRMとはContent Protection for Recordable Mediaの略で、コピーを制限する著作権保護技術のことです。デジタル放送をディスクにダビングし再生するには、CPRM対応のディスクと再生機器が必要になります。

■ファイナライズについて

ファイナライズとは、映像をダビングしたディスクと再生機器の互換性を高めるための処理のことです。例えば、映像をダビングしたディスクを再生する場合、そのディスクにダビングをした機器 (DVDレコーダー等) では再生が可能なのに、同じディスクを他の機器で再生しようとするとうディスクエラーとなる場合があります。これは、ダビングを行った機器ではディスクにデータが記録されている場所が認識できるが、それ以外の機器ではデータの場所が分からないために起こる現象です。このような事態を避け、そのディスクに記録したデータを他の機器でも再生可能なデータ配列にするためにファイナライズという処理が必要になります。

はじめに

◆ディスクの取扱いと用語（つづき）

ディスクに関する用語について

一般に、DVDビデオディスクは、「タイトル」という大きい区切りと「チャプター」という小さい区切りに分かれています。音楽用CDは、「トラック」で区切られています。

- タイトル：DVDビデオディスクの内容を、いくつかの部分に大きく区切ったものです。
チャプター：タイトルの内容を、場面や曲ごとにさらに小さく区切ったものです。
トラック：音楽用CDの内容を曲ごとに区切ったものです。

それぞれのタイトルやチャプター、トラックには順番に番号がふられています。これらの番号を「タイトル番号」「チャプター番号」「トラック番号」といいます。ディスクによっては、各々の番号が記録されていないものもあります。

ディスクの取り扱いかた

- 再生面には手を触れないでください。



- ディスクに紙やシールを貼らないでください。



ディスクの取り扱いかた

- ディスクについた指紋やほこりなどのよごれは、画像の乱れや音質低下の原因となります。柔らかい布で、ディスクの中心から外側に向かって軽く拭き取り、いつもきれいにしておいてください。

ディスク保管のしかた

- 直射日光の当たる場所や、湿度の高い場所には保管しないでください。
- 浴室や加湿器のそばなど、湿気やほこりの多い場所には保管しないでください。
- ディスクは必ず専用のケースに入れて保管してください。専用ケースに入れずに重ねたり、立てかけたりすると変形する原因となります。



- よごれがひどいときは、水で少し湿らせた柔らかい布で軽く拭き取り、乾いた布で仕上げてください。

- シンナーやベンジン、アナログ式レコード専用のクリーナー、静電防止剤などは絶対に使用しないでください。ディスクを痛める原因となります。

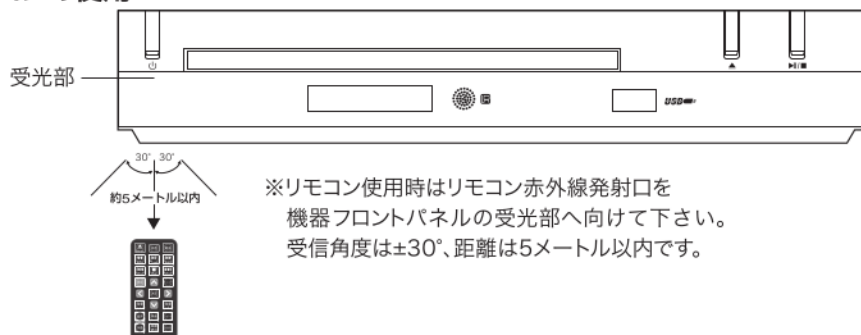
ご使用にあたって

本製品は、映像及び音声動作しない状態で30分ほど経過すると自動的に電源が切れます。

1. リモコンの準備と使用



● リモコンの使用



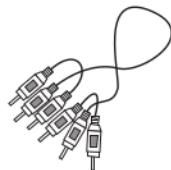
▲ 注意事項

- リモコンを落としたり濡らしたりしないでください。
- フロントパネルの赤外線受光部に太陽光や強い光をあてないでください。
- 使用中にリモコンが効かない現象が生じた時は、電池の交換を行ってください。

付属部品



HDMIケーブル×1



AVケーブル×1



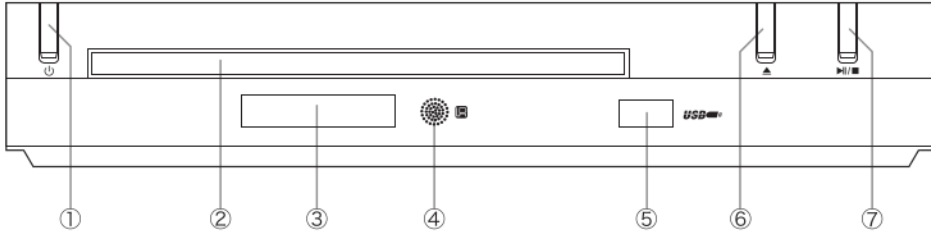
リモコン×1



動作確認用電池×2

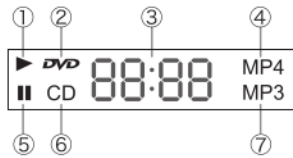
操作インターフェース

1. フロントパネル



- ①電源ボタン
- ②ディスクトレイ
- ③ディスプレイ
- ④リモコン受光部
- ⑤USB端子
- ⑥トレイ開/閉ボタン
- ⑦再生/一時停止ボタン

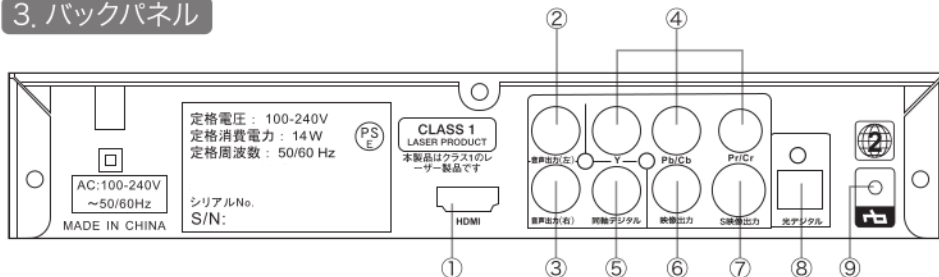
2. ディスプレイ表示



- ①ディスクやファイル再生中
- ②DVD再生時
- ③現在の操作状況等
- ④MP4ファイル再生時
- ⑤ディスクやファイル一時停止中
- ⑥CD再生時
- ⑦MP3ファイル再生時

HE:LO [HELLO] 電源オン 0:FF [OFF] 電源オフ OP:EN [OPEN] ディスクトレイ開 CL:05 [CLOSE] ディスクトレイ閉 NO:DS [NO DISC] ディスクなし
 LO:AD [LOAD] ディスク読み込中 12:34 再生時間表示 St:OP [STOP] 再生停止中 UN [UN] ファイル非対応(再生不可)
 t 1:tL [TITLE] タイトルメニュー表示中 r 0:0t [ROOT] ルートメニュー表示中

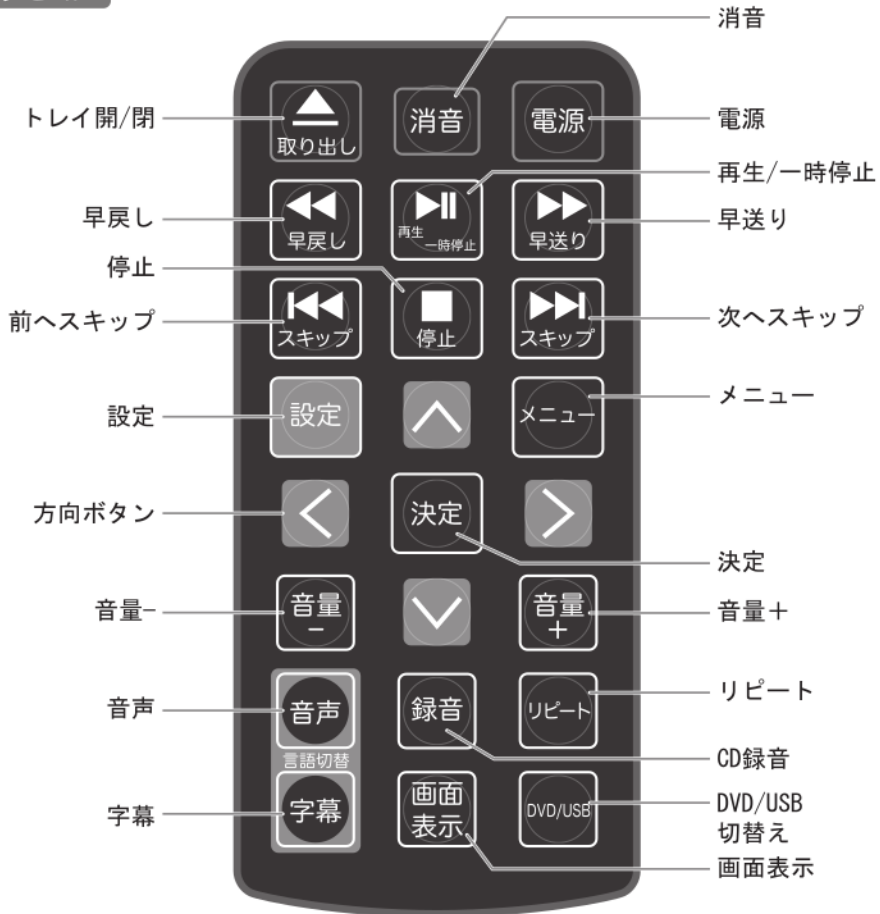
3. バックパネル



- ①HDMI端子出力
- ②音声出力L(左)
- ③音声出力R(右)
- ④コンポーネント出力
- ⑤同軸デジタル音声出力
- ⑥映像出力
- ⑦S-端子出力
- ⑧光デジタル音声出力
- ⑨Grounding

操作インターフェース

3. リモコン



⚠ 注意事項

リモコンは指向性赤外線を送出します。操作時には、リモコンを赤外線センサーへ直接向けてください。センサーが覆われていたり、リモコンとセンサー間に障害物があると、センサーはシグナルを受信できません。直射日光や強い人工光(蛍光灯やフラッシュライトなど)がセンサーに当たると、センサーは信号を正しく受信できません。この場合、直接光を避けるため、光の向きを変えるか、装置の位置を移動してください。

システムの接続



システムの接続が完了する前は、本機または関連機器の電源プラグを差し込まないでください。

1. HDMI端子付きテレビのとの接続

1. 本機裏側のHDMI出力端子とお持ちのテレビのHDMI入力端子を付属のHDMIケーブルで接続します。
2. テレビの入力を本機が接続されたHDMI入力に設定してください。テレビの入力方法につきましては、テレビの取扱説明書などをご覧ください。
3. お持ちのHDMI端子付きテレビの仕様や使用環境により、映像が正しく映らない場合がございます。その場合は解像度設定が必要ですので、本機リモコンの[設定]ボタンからシステム設定画面を開き、[ビデオ設定ページ]の[HDMI解像度]からお持ちのテレビの仕様解像度を選択して下さい。(本取扱説明書20ページ、4-2参照)
※お持ちのテレビにもよりますが、「1080i」に設定すると安定するケースが多いです。
4. 上記方法で安定しない場合は、一度本機器もしくはテレビの電源を入れなおして下さい。

●本機器のHDMI出力フォーマット（解像度）

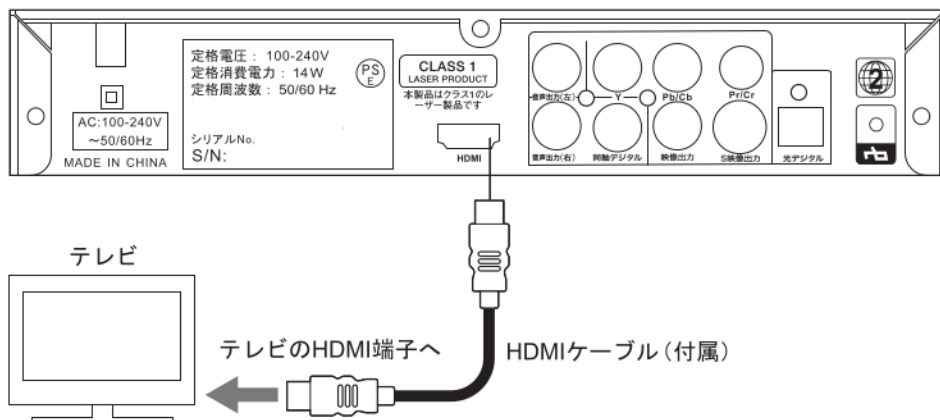
- ・ 720×480p (ﾌﾞﾛｯｸﾞ ﾚｯｼﾞﾌﾞ) ・ 720×480i (ｲﾝﾀｰﾚｰｽ) ・ 1280×720p (ﾌﾞﾛｯｸﾞ ﾚｯｼﾞﾌﾞ)
- ・ 1920×1080i (ｲﾝﾀｰﾚｰｽ) ・ 1920×1080p (ﾌﾞﾛｯｸﾞ ﾚｯｼﾞﾌﾞ)

※お持ちのHDMI端子付きテレビが上記解像度に対応していない場合は正しく表示されません。

- 本機HDMI端子にて伝送できる音声信号は最大44.1kHz～192kHz、16bit/20bit/24bitの2chリニアPCM音源信号になります。

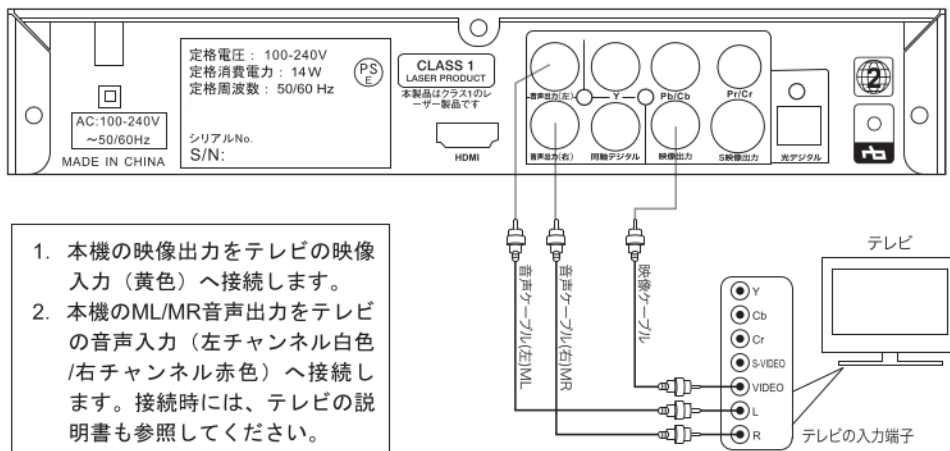
HDMI (High Definition Multimedia Interface) ケーブルは1本でデジタル映像・音声データを送ることができます。

HDMI入力端子のあるテレビと接続することで、本機からデジタル映像・音声信号が送信され、高精細な画像と高品位な音声をとお楽しみいただけます。



システムの接続

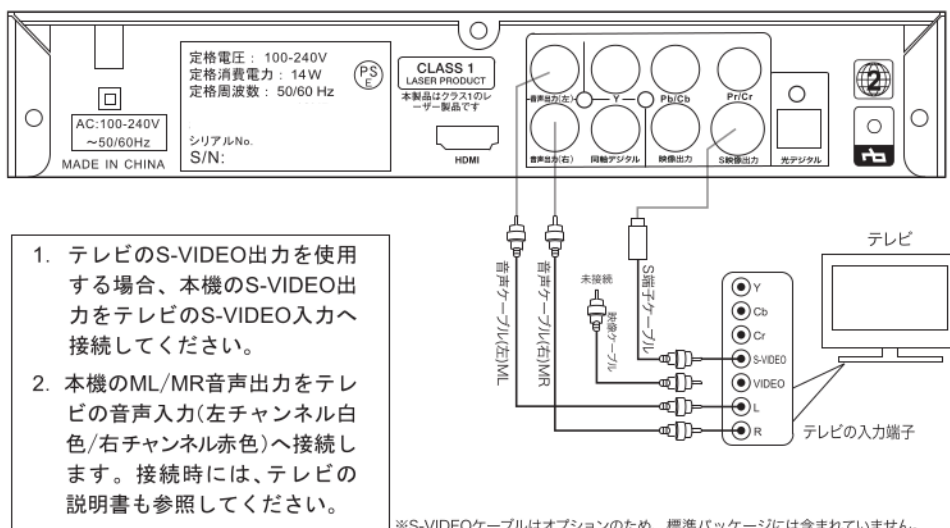
2. テレビとの接続(AV入力)



※本機の標準パッケージには、1セットのAVケーブルが含まれています。

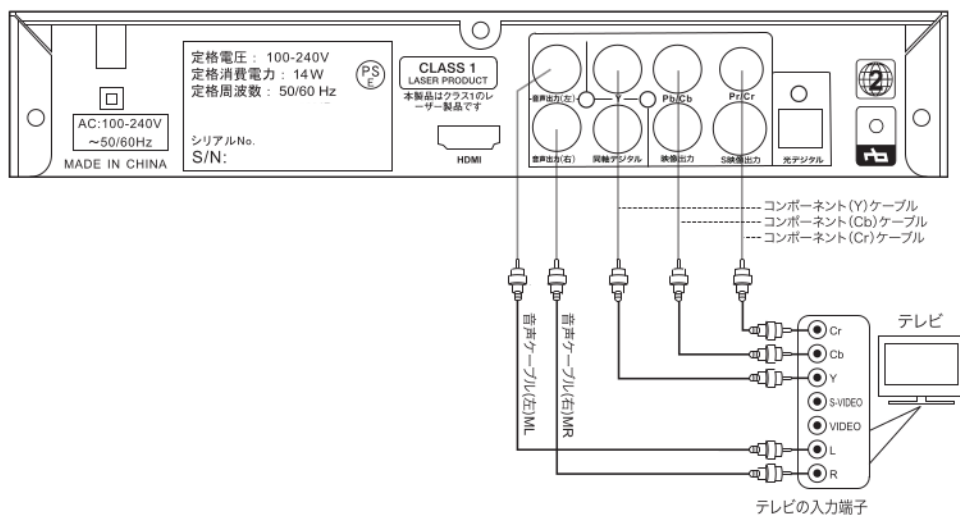
テレビによっては音声入力がひとつしかない場合があります。その場合は左右(白・赤)いずれかのコードを接続すれば音声の再生ができます。

3. テレビのS-VIDEO端子への接続

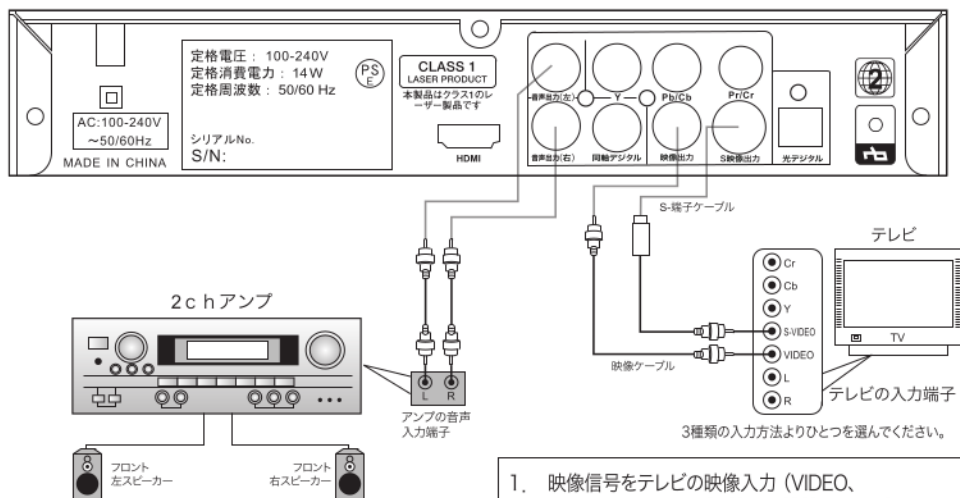


システムの接続

4. コンポーネント(Y、Pb/Cb、Pr/Cr)入力端子付きテレビの接続



5. 2chアンプとの接続



1. 映像信号をテレビの映像入力 (VIDEO、S-VIDEO、Y/Cb/Cr) 端子に接続してください。
2. 本機のML/MR音声出力を立体音声アンプの入力端子へ接続してください。

システムの接続

7. プログレッシブテレビとの接続

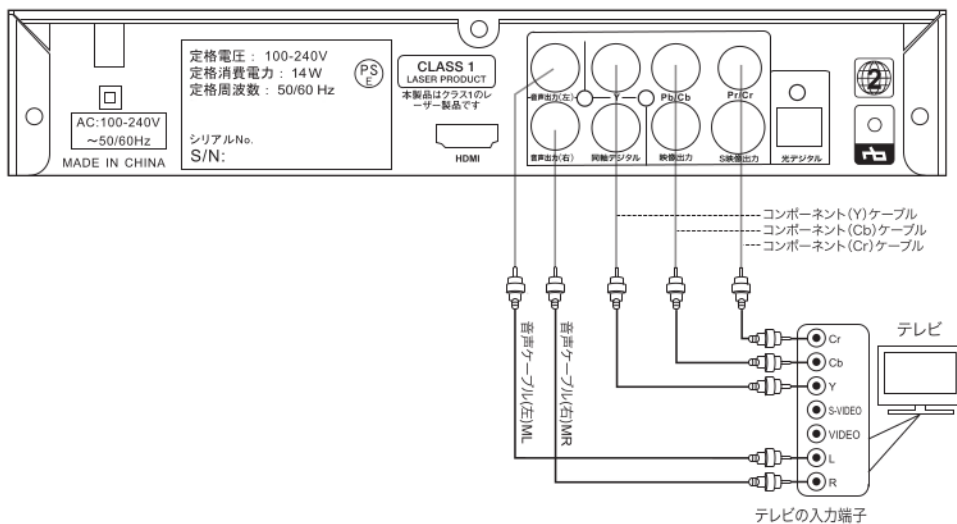
本機の映像設定は工場出荷時はインターレース設定となっています。リモコン設定ボタンを押して設定画面に入り、プログレッシブに切替えてお楽しみください。

1. 詳しい設定方法は、本取扱説明書20ページ「システム設定：4.ビデオ設定：4-1.コンポーネント」の項目をご参照ください。
2. 音声出力をテレビのコンポーネント端子と同組の音声入力端子に接続してください。


⚠ 注意事項

プログレッシブ再生はコンポーネント端子接続でのみ有効です。
通常接続でプログレッシブ設定に変更した場合、映像が正しく再生されなくなります。
設定は電源を切っても維持されます、設定を戻す場合は設定画面で変更してください。

※システム接続前には、本機とその他設備の電源を必ず切断してください。



システム設定 1.一般設定

システム停止状態で「設定」ボタンを押すと、設定画面が表示されます。設定可能な項目には、一般設定、オーディオ設定、ドルビー設定、ビデオ設定、環境設定があります。「」方向ボタン及び決定ボタンにより設定を変更する事が出来ます。設定値は即座に反映され、どの状態でも「設定」ボタンによりメイン画面に戻ります。

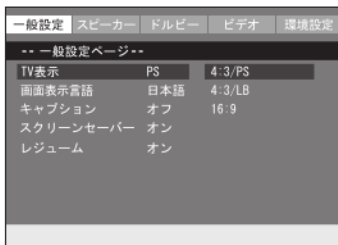
ディスク再生中に「設定」ボタンを押すと、設定画面が表示され設定が変更できます。

ご注意ください

機能設定に関してはディスクが入った状態では設定できませんのでディスクを取り出して改めて機能設定を行なってください。

また、ディスクにより設定ができない場合がございます。

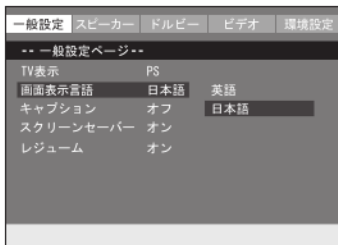
1 一般設定



1-1 TV設定

TVタイプは、全部で「4：3/PS」、
「4：3/LB」、「16：9」の3種類があります。
16：9の画面比で作られている映像を視聴する場合、この設定を変えることで、画面に映る映像のサイズを変更することができます。

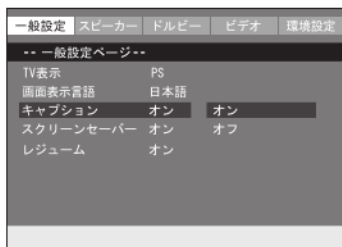
- ・「4：3/PS」は元の画像の大ききさで表示できますが、画面左右部分が切り取られます。
- ・「4：3/LB」は元の画像より小さくなり、画面の上部と下部に黒い部分が表示されます。
- ・「16：9」ワイドテレビに接続する場合に選択します。



1-2 画面表示言語

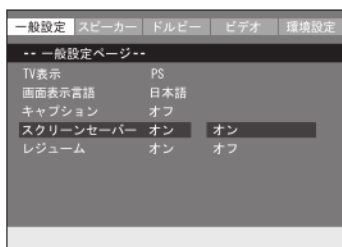
- ・設定、操作時に使用する言語です。英語、日本語の表示を選択できます。

システム設定 1.一般設定 2.スピーカー設定



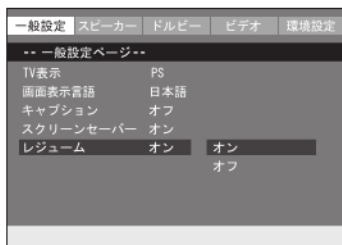
1-3 キャプション

- ・キャプションのオン・オフが出来ます。



1-4 スクリーンセーバー

- ・スクリーン保護機能のオン・オフが出来ます。オンを選択すると、映像及び音声が入作しない状態で、約5分ほど経過するとスクリーンセーバーが作動します。



1-5 レジューム

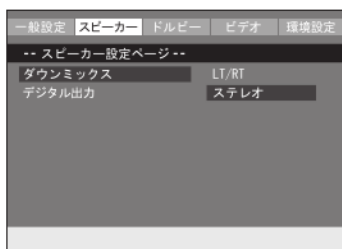
- ・再生を仮停止状態にして電源を切ったとき、次回の再生では仮停止(※)した場所から続きを再生します。

※

仮停止 : 停止ボタンを1回押す(レジューム可)

完全停止 : 停止ボタンを2回押す(レジューム不可)

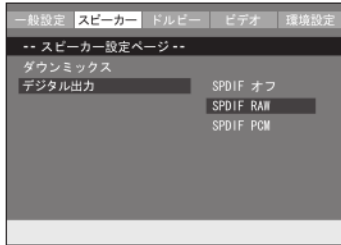
2 スピーカー設定



2-1 ダウンミックス

- ・LT/RT : 選択するとディスク上のオリジナル音声Dolby Pro Logic形式で収録されている場合、劇場のような音響効果が得られます。
- ・ステレオ : 5.1chサラウンド再生時に選択します。2種類のチャンネル信号が左右のサラウンドトラックから出力されます。2chサラウンド再生時にはステレオ信号が出力されます。

システム設定 2.スピーカー設定 3.ドルビー設定



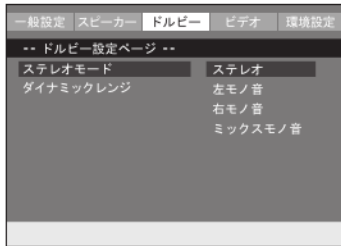
2-2 デジタル出力

デジタル出力で再生する場合、デジタルアンプ等対応する機器が必要となります。

本機器と対応機器を光ケーブルで接続する際に選択してください。

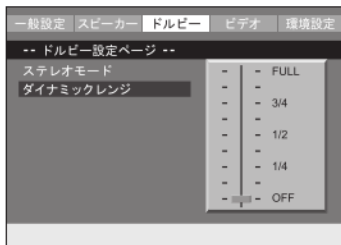
- ・ SPDIF オフ：デジタル出力をオフにします。
- ・ SPDIF RAW：ドルビーデジタル等を5.1ch再生する場合に選択してください。
- ・ SPDIF PCM：ドルビーデジタル等を2ch（ステレオ）再生する場合に選択してください。

3 ドルビー設定



3-1 ステレオモード

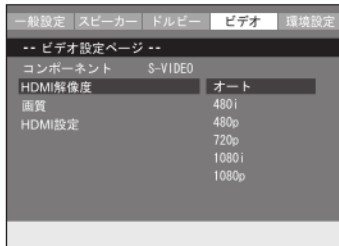
- ・ ステレオ：通常使用の場合
- ・ 左モノ音：左側の音を左右のスピーカーから出します。
- ・ 右モノ音：右側の音を左右のスピーカーから出します
- ・ ミックスモノ音：左右ミックスした音を左右のスピーカーから出します。



3-2 ダイナミックレンジ

- ・ ドルビーデジタルのディスクを再生するとき、音の幅を設定し迫力を調整します。

4 ビデオ設定



4-1 コンポーネント

- ・映像出力端子の設定を行いません。
通常使用の場合はS-VIDEOにて使用します。
コンポーネント端子で接続する場合YUVを選択します。
- ※S-VIDEO接続をしている場合、YUVに変更すると、映像が出なくなることがあります。その場合はリモコンのリセットボタンでリセットしてください。

4-2 HDMI解像度

●HDMI解像度の選択方法

テレビ/モニターへのHDMI映像信号の出力解像度を設定します。

各480i、480p、720p、1080i、1080p は、画像列を表します。

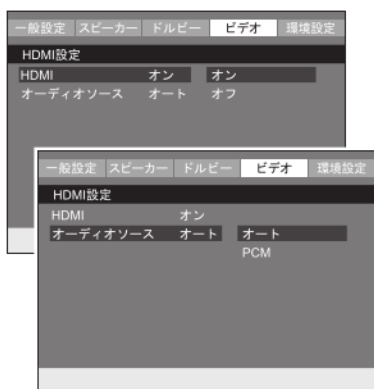
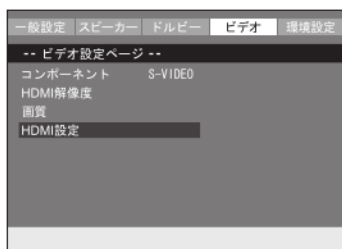
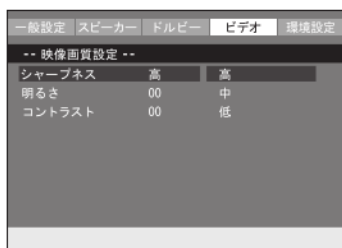
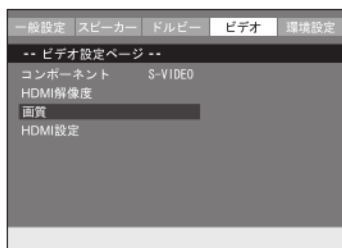
各iとpはインタレースとプログレッシブを表します。

- ・オート：HDMI出力解像度は自動的にテレビの最高解像度に設定されます。また、解像度が切換る際に画面が乱れることがあります。
- ・480i：インタレース 出力画像480列
- ・480p：プログレッシブ 出力画像480列
- ・720p：プログレッシブ 出力画像720列
- ・1080i：インターレース 出力画像1080列
- ・1080p：プログレッシブ 出力画像1080列

[注意]

- ・ディスクによっては、ご利用になれないテレビ画面タイプがあります。
- ・16:9のワイド画面テレビでも、映画によっては4:3で表示されることがあります。
(画面左右に黒い画面が表示されます。)
- ・1080i の設定が、一般的に安定しやすい傾向があります。

システム設定 4.ビデオ設定



4-3 画質

- ・「画質」を選択すると、テレビ/モニター画面の画質を設定することができます。
[シャープネス][明るさ][コントラスト]の三項目の設定が可能です。
[明るさ][コントラスト]を設定する場合は、リモコンの左右方向ボタン◀▶を押すごとに-20~20の段階で設定ができます。お好みの画面状態になりましたら、リモコンの決定ボタンを押してください。画質が決定され、設定画面に戻ります。

4-4 HDMI設定

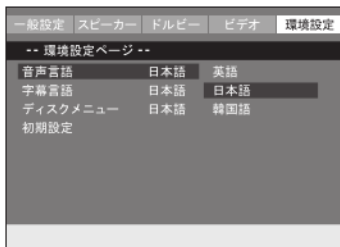
- ・[HDMI設定]→[HDMI]を選択すると、HDMIのオン・オフが設定できます。オフを選択すると、HDMIケーブルで接続している画面が表示されなくなります。
- ・[HDMI設定]→[オーディオソース]を選択すると、オートもしくはPCMの選択ができるようになります。

オート：接続しているHDMI対応機器がドルビーデジタル、DTS、またはMPEG等の音声に対応していないときは、自動でリニアPCM音声に変換して出力します。

PCM：DTS及びドルビーのデジタル音声信号のデコード機能を持たないHDMI対応機器に接続する場合に選択してください。

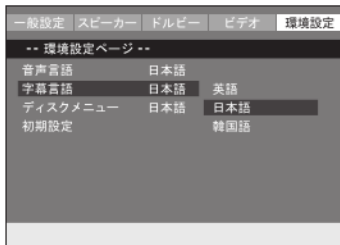
5 環境設定

※ディスクの再生中・一時停止中・仮停止中は環境設定はできません。
完全停止状態にしてから設定を行ってください。



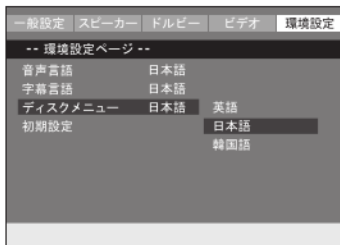
5-1 音声言語

- ・ディスクが選択したメニュー言語に対応している場合、設定した言語で表示されます。
ディスクを再生中に、リモコンの音声切換ボタンを押すことによっても、音声言語を切り替えることができます。



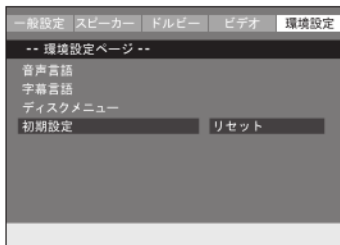
5-2 字幕言語

- ・ディスクが選択した字幕に対応している場合、設定した字幕が表示されます。
ディスクを再生中に、リモコンの字幕ボタンを押すことによっても、字幕を切り替えることができます。



5-3 ディスクメニュー

- ・ディスクが選択したメニュー言語に対応している場合、メニュー画面が設定した言語で表示されます。



5-4 初期設定

- ・工場出荷時の設定に戻します。

※ディスクがディストレイに入ったままだと、設定が戻らないことがあります。ディスクを抜いた状態でリセットボタンを押してください。

基本操作

基本操作

1. 電源を入れる



- ・DVDプレイヤー本機の電源ボタンをおして主電源を入れると、テレビ画面に「読込中」と表示されます。

※リモコンの電源は、DVDプレイヤー本機の主電源が入っている状態で使用できるスリープ電源ON/OFFボタンです。主電源のON/OFFには使用できません。



- ・DVDプレイヤーにディスクが挿入されていない場合、以下のように表示されます。

2. ディスクの挿入



- ・DVDプレイヤーの開閉ボタンまたはリモコンのオープン/クローズボタン(▲)を押すと、テレビ画面に「トレイ開」と表示されトレイが開きます。



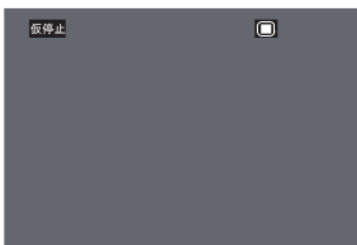
- ・DVDプレイヤーにディスクを挿入し、DVDプレイヤーの開閉ボタンまたはリモコンのオープン/クローズボタン(▲)を押すと、テレビ画面に「トレイ閉」と表示されトレイが閉まります。次に「読込中」が表示され、ディスクの再生が自動的に開始されます。

基本操作

3. ディスクの再生

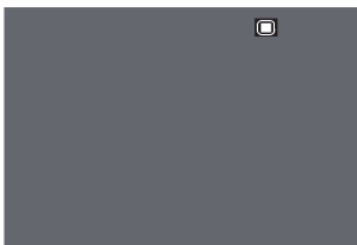


- ・再生：リモコンまたは本体の再生/一時停止ボタンを押すと再生が開始されます。



- ・停止：再生中にリモコンまたは本体の停止ボタンを1回押すと再生を仮停止します。再生を続けたい場合、再生/一時停止ボタンを押すと停止した場所から再生が始まります。停止ボタンを2回押すと再生は中止され完全停止の状態になります。

※システム設定の一般設定で「レジューム」をオンに設定すると、仮停止した状態で電源(主電源)を切った時は、次回の再生時に仮停止した場所から続きを再生します。(P18参照)



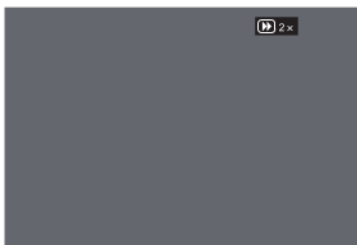
※本体の再生/一時停止ボタンを長押しすると再生は中止され完全停止の状態になります。本体ボタン長押しによる停止は完全停止のみで仮停止にはなりません。



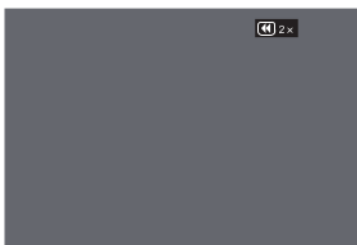
- ・一時停止：再生中にリモコンまたは本体の再生/一時停止ボタンを押すと再生を一時停止します。
一時停止を解除するには再生/一時停止ボタンを押してください。

基本操作

3. ディスクの再生



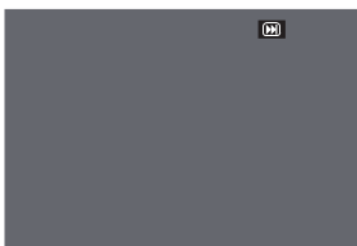
- ・ 早送り：再生中にリモコンの早送りボタンを押すと2×→4×→8×→16×→32×の早送り再生と通常の再生が循環して切り替わります。



- ・ 早戻し：再生中にリモコンの早戻しボタンを押すと2×→4×→8×→16×→32×の早戻し再生と通常の再生が循環して切り替わります。

※DVDディスクの早送り早戻し中は字幕と音声は出ません。

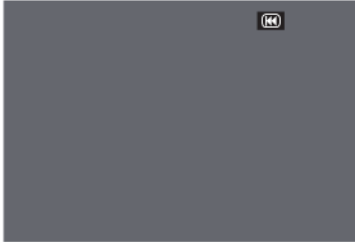
4. トラックの頭出し



- ・ スキップ次：DVDディスクを再生中にリモコンまたは本体のスキップ次のボタンを押すと次のチャプターまたはタイトルを再生します。CDを再生中にリモコンまたは本体のスキップ次のボタンを押すと、次の曲を再生します。

基本操作

4. トラックの頭出し



- ・スキップ戻：DVDディスクを再生中にリモコンまたは本体のスキップ戻のボタンを押すと前のチャプターまたはタイトルを再生します。CDを再生中にリモコンまたは本体のスキップ戻のボタンを押すと、前の曲を再生します。

5. リピート

- ・リモコンでリピートボタンを押すとタイトル、チャプター曲目、またはディスクの内容全てをリピート再生することができます。

DVD再生の場合

チャプターリピート→タイトルリピート→オールリピート→オフと循環して切り替えます。

CD再生の場合

1曲リピート→オールリピート→オフと循環して切り替えます。

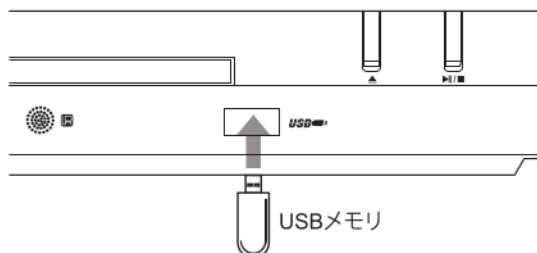
6. その他リモコンの使用方法

- ・字幕：DVDの再生中にリモコンで字幕ボタンを押すと、収録されている字幕の表示を切り替えることができます。
- ・音量：リモコンの音量＋ボタンを押すことで音量を調節できます。
- ・画面表示：画面表示ボタンを押すと、再生中のディスクの情報を表示できます。
- ・DVD/USB：DVD、USBメモリー、の切替えを行います。
- ・録音：USBメモリー記録媒体への録音時とファイル(データ)消去時に使用します。
- ・音声：DVDの再生中にリモコンで音声ボタンを押すと、収録されている言語を切り替えることができます。

基本操作

USBメモリの使用

1. 本体との接続



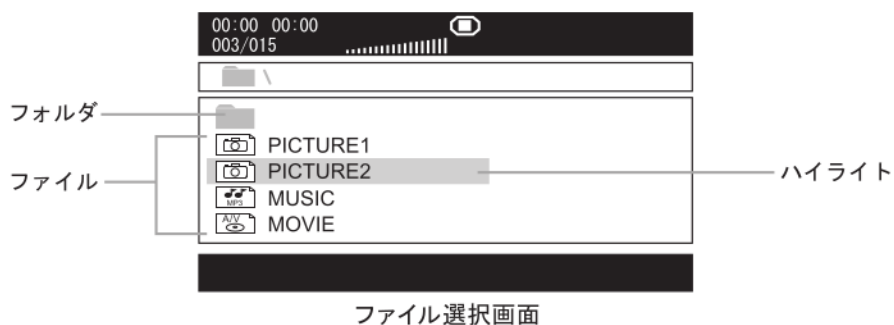
USBメモリを、本体前面のUSB端子に、正しい向きでそれぞれ挿入します。自動的にファイル選択画面が表示されます。

※USBメモリをご使用になる際は、ディスクをディスクトレイから取り出してください。ディスクが入った状態ですと、USBメモリは認識されません。

2. ファイルの再生

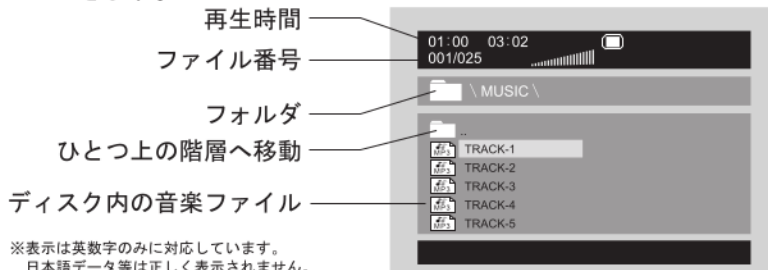
ファイル選択画面に、メディア内のフォルダやファイルが表示されます。リモコンの▲▼ボタンでハイライトを移動させ、再生したいファイルを選択し、リモコンの決定ボタンまたは再生一時停止ボタンを押すと、そのファイルから再生が始まります。フォルダを選択→決定すると、フォルダ内のファイルが表示されます。リモコンの◀ボタンを押すと上位の階層の画面に移動します。

※詳しい再生方法はP28～P31をご参照ください。



音楽ファイルの再生

本機ではMP3形式及びWMA形式のファイルが保存されたディスクを再生することができます。



MP3形式およびWMA形式のファイルが保存されたメディアをプレーヤーにセットすると、上記の画面が表示されます（本機に対応した形式で記録されたディスクのみ使用可能です）。この画面でディスク上のフォルダやファイルを選択し、再生する曲を決定します。

※音楽ファイルが再生できない場合についてはP32をご参照ください。

操作方法

- リモコンのスキップボタンを押して黄色のハイライトを移動させ、再生したいファイルを選択します。
- 決定ボタンまたは再生/一時停止ボタン▶||を押すと選択したファイルが再生されます。
- 再生中に方向ボタンまたはスキップボタンを押して次に再生したいファイルを選択することもできます。その時、現在再生中のファイルは白いハイライトで示されます。

■ 音楽ファイルの再生中には次の操作を行うことができます。

- ・ 停止……………本体またはリモコンの停止ボタン■を押します。
- ・ 一時停止……………本体またはリモコンの再生/一時停止ボタン▶||を押します。
- ・ リピート再生…リピートボタンを押します。ボタンを押すごとにリピートの方式が次のように変わります。

シングル再生 : 選択したファイルが再生されます。

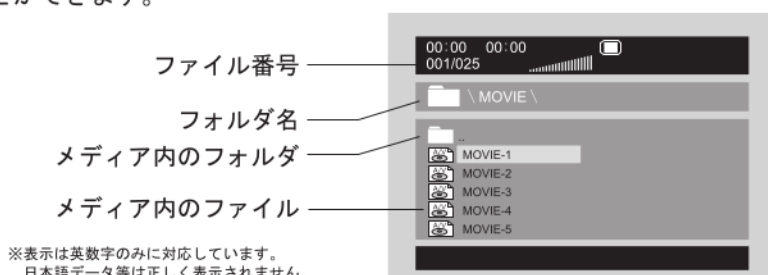
シングルリピート : 再生中のファイルを繰り返し再生します。

フォルダーリピート : フォルダ内のすべてのファイルを繰り返し再生します。

フォルダー再生 : 選択したフォルダが再生されます。

動画ファイルの再生

本機ではMPEG4形式およびAVI形式のファイルが保存されたメディアを再生することができます。



MPEG4形式およびAVI形式のファイルが保存されたメディアをプレーヤーにセットすると、上記の画面が表示されます(本機に対応した形式で記録されたメディアのみ使用可能です)。この画面でフォルダやファイルを選択し、再生する曲を決定します。(H.264/MPEG4 AVC形式のデータは再生できません。)

※動画ファイルが再生できない場合についてはP32をご参照ください。

操作方法

- リモコンのスキップボタンを押して黄色のハイライトを移動させ、再生したいファイルを選択します。
- 決定ボタンまたは再生/一時停止ボタン▶||を押すと選択したファイルが再生されます。
- ファイルによっては再生中にスキップボタンを押すと、前後のファイルが再生できる場合もございます。

■ 再生中には次の操作を行うことができます。

※対応する動画ファイルの全てにおいて操作の保証を致しかねる場合がございます。

- ・ 停止……………本体またはリモコンの停止ボタン■を押します。
- ・ 一時停止……………本体またはリモコンの再生/一時停止ボタン▶||を押します。
- ・ リピート再生…リピートボタンを押します。ボタンを押すごとにリピートの方式が次のように変わります。

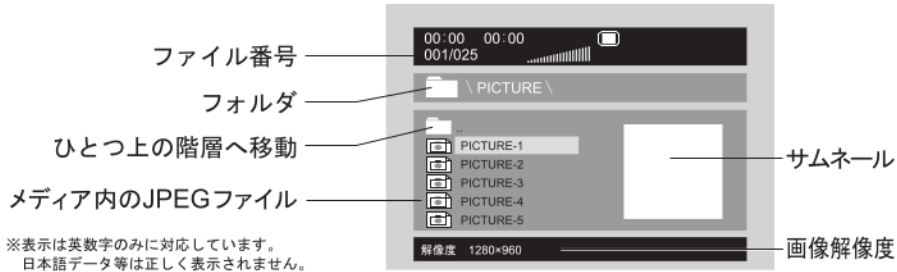
シングル再生 : 選択したファイルが再生されます。

シングルリピート : 再生中のファイルを繰り返し再生します。

フォルダーリピート : フォルダ内のすべてのファイルを繰り返し再生します。

JPEG画像ファイルの再生

本機ではJPEG形式の画像ファイルが保存されたディスクを再生することができます。



JPEG形式のファイルが保存されたディスクをプレーヤーにセットすると、上記のメニュー画面が表示されます（本機に対応した形式で記録されたメディアのみ使用可能です）。この画面でフォルダやファイルを選択し、表示するファイルを決めます。

※画像ファイルが再生できない場合についてはP32をご参照ください。

操作方法

- リモコンのスキップボタンを押して黄色のハイライトを移動させ、再生したいファイルを選択します。右側にサムネール（小さい画像）が表示されます。
- 決定ボタンまたは再生/一時停止ボタン▶||を押すと、選択したファイルが表示されます。

■ JPEGの再生中には次の操作を行うことができます。

- ・ 停止……………本体またはリモコンの停止ボタン■を押します。
- ・ 一時停止……………本体またはリモコンの再生/一時停止ボタン▶||を押します。
- ・ リピート再生…リピートボタンを押します。ボタンを押すごとにリピートの方式が次のように変わります。

シングル再生 : 選択したファイルが再生されます。

シングルリピート : 再生中のファイルを繰り返し再生します。

フォルダーリピート : フォルダ内のすべてのファイルを繰り返し再生します。

フォルダー再生 : 選択したフォルダが再生されます。

JPEG画像ファイルの再生

- ・ 画像の回転……スライドショーの最中にリモコンの▶ボタンを押すと、画像が90度右に、◀ボタンを押すと90度右に回転します。
- ・ 画像の反転……スライドショーの最中にリモコンの▲ボタンを押すと、画像が上下に反転し、▼ボタンを押すと左右に反転します。

※決定ボタンを押すと元に戻ります。

※スライドショーの最中にメニューボタンを押すとメニュー画面に戻ります。

メディア／ファイルについて

■写真再生・音楽再生・動画再生について

- 写真再生は、JPEG 形式のファイルで拡張子「.jpg」が付加されているファイルを再生できます。他の画像形式のファイルや「.bmp」、「.tif」などの異なる拡張子が付いたファイルは再生できません。
- ※JPEG とは、静止画像のデジタルデータを圧縮する方式のひとつで、JPEG ファイルは「.jpg」という拡張子が付いた画像ファイルのことを言います。
- 画像ファイルサイズ又はファイル構造により、ディスプレイに表示されるまで時間がかかることがあります。
- デジタル著作権管理 (DRM) されたファイルは再生できません。
- ※DRM とは、デジタルデータとして表現されたコンテンツの著作権を保護し、その利用や複製を制御・制限する技術の総称を言います。音声・映像ファイルにかけられる複製の制限技術などが有名ですが、広義には画像ファイルの電子透かしなども DRM に含まれます。
- 音楽再生は、MP3/WMA (DRM 非対応) 形式のファイルをパソコンから転送時に、専用ソフトを使って独自の暗号化 (著作権保護) を施すもので使用されるファイルを入れた USB メモリや SD カードは本製品では再生できません。
- 例：アップル製「iPod シリーズ」、ソニー製「ウォークマンシリーズ」、松下電器製「D-snap オーディオシリーズ」、ビクター製「アルネオシリーズ」など
- MP3/WMA 形式ファイルは、記録された順序で再生できないことがあります。また、記録状況により音飛びが発生したり、再生できないこともあります。
- 動画再生は、MPEG2/MPEG4 の対応形式のファイルでも、すべての再生を保証するものではありません。記録条件や記録状況によっては再生できない場合があります。
- H.264/AVC 形式のファイルは再生できません。
- データ名、ファイル名の表示は英数字のみに対応しています。日本語データ等は正しく表示されません。

■USBメモリについて

- すべての USB メモリについての作動保証はしていません。
- 容量 8GB を超える USB メモリは作動保証していません。
- USB メモリは、記録された順序で再生できないことがあります。また、記録状況により音飛びが発生したり、再生できないこともあります。
- マッキントッシュで編集された USB メモリには対応していません。

USBメモリにCDの曲を録音する①

本機ではUSBメモリにCDの曲を録音することができます。

■市販CDを録音する場合

- ① CDをトレイにセットすると自動的に読みまれ、数秒後にCDの再生が開始されます。
- ② USBメモリを本機のUSB端子に接続します。確認されるまで数秒お待ち下さい。
- ③ リモコンの録音ボタンを押すと右図のメニュー画面が表示されます。

CD録音		トラック	
オプション			
速度	標準	✓ track01	04:26
ビットレート	128kbps	track02	03:41
ID3情報		✓ track03	04:45
メディア	USB	track04	04:30
録音情報		track05	04:20
トラック	0	✓ track06	04:51
タイム	00:00	track07	03:28
開始	戻る	すべて選択	すべて取消

- ④ リモコンの方向ボタンで黄色のハイライトを移動させ、録音形式の設定を「オプション」から決定ボタンで設定します。

- ・速度(標準) / CDが通常再生されながら録音されます。録音したい曲の合計収録時間と同じ録音時間が必要です。

- ・速度(倍速) / CDは再生されずに「標準」

より短時間で録音されます。(録音したい曲の合計収録時間により差があります)

- ・ビットレート(96/112/128/192/256/320kbps ※音質)

- ・メディア(USB1 ※USBが正しく認識されていない場合は「なし」表示)

- ⑤ 録音したい曲を「トラック」から選択して決定します。

- ・CD収録曲の一部を録音したい場合は、黄色のハイライトを好きなトラック番号に移動させて決定ボタンを押します。選択されるとトラック番号の前にチェックマーク「」が表示されます。もう一度決定ボタンを押すと選択が解除されます。

- ・CD収録曲の全てを録音したい場合は、黄色のハイライトを「すべて選択」に移動させて決定ボタンを押します。

- ・選択した曲を全て取り消したい場合は、黄色のハイライトを「すべて取消」に移動させて決定ボタンを押します。

※「録音情報」部分の「トラック」に選択した曲数、「タイム」に選択曲の合計収録時間が表示されます。

- ⑥ 「開始」に黄色のハイライトを移動させて決定ボタンを押すと、左図の画面が表示され、録音が始まります。録音中に決定ボタンを押すと「キャンセル」が選択されて録音が終了され、それまでの録音データのみが保存されますのでご注意ください。

CD録音		トラック	
録音中			
トラック		track01	done
		track02	done
トータル		track03	38%
		track04	04:30
		track05	04:20
		track06	04:51
		track07	03:28
録音情報			
録音中			
トラック	02/15		

※本機でCDからUSB/SDへ録音出来る曲数は最大149曲です。150曲以上は録音出来ません。

- ⑦ 録音が終了すると自動的に停止し、録音メニューに画面に戻ります。
- ⑧ USBメモリを抜き取ってから、CDを取り出します。

※ CDのタイトル名や曲名等の文字情報は保存されません。録音したUSBメモリから本機で再生する場合はそれらの表示はされません。(ID3情報非対応)

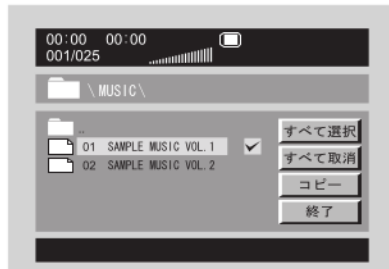
※ USBメモリの仕様によっては、録音した曲の順番が変動する場合がございます。

USBメモリにCDの曲を録音する②

本機ではUSBメモリにデータCDの曲を録音することができます。

■データCDを録音する場合

- ① データCDをトレイにセットすると自動的に読込まれ、ディスク内のフォルダやデータが表示されます。
- ② USBメモリを本機のUSB端子に接続します。
- ③ リモコンの方向ボタンで黄色のハイライトを好きなトラック番号に移動させ、録音したいフォルダやデータが表示できている状態にします。
- ④ 録音したい曲を選択して決定します。
 - ・データCD収録曲の一部を録音したい場合は、黄色のハイライトを好きなトラック番号に移動させて録音ボタンを押したあとに、決定ボタンを押します。選択されると曲名(データ名)の後ろにチェックマーク「✓」が表示されます。もう一度決定ボタンを押すと選択が解除されます。
 - ・データCD収録曲の全てを録音したい場合は、録音ボタンを押して黄色のハイライトを「すべて選択」に移動させて決定ボタンを押します。
 - ・選択した曲を全て取り消したい場合は、録音ボタンを押して黄色のハイライトを「すべて取消」に移動させて決定ボタンを押します。
- ⑥ 「コピー」に黄色のハイライトを移動させて決定ボタンを押して、表示される「USB」「次へ」の順に決定ボタンを押すと、録音(データのコピー)が開始されます。データは倍速コピーとなるため、音の再生はされません。録音中に決定ボタンを押すと「キャンセル」が選択されて録音が終了され、それまでの録音データのみが保存されますのでご注意ください。
- ⑦ 録音が終了すると自動的に停止し、手順③の画面表示に戻ります。
- ⑧ データCD収録曲の別のデータを続けてコピーしたい場合は手順③から再度行います。
- ⑨ USBメモリを抜き取ってから、CDを取り出します。

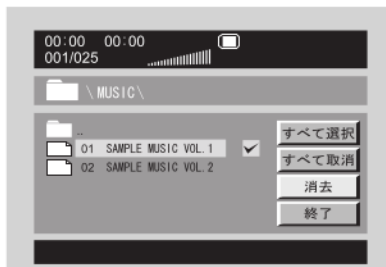


※ データCD収録曲のタイトル名や曲名等の文字情報は、データCD作成時の保存形式や仕様に依存しますので、全ての表示は保証致しかねます。

※ USBメモリの仕様によっては、録音した曲の順番が変動する場合がございます。

USBメモリのデータを削除する

- ① 音楽ファイルの削除をしたいUSBメモリを、本機のUSB端子に接続します。
- ② 自動的に読み込まれ、USBメモリのフォルダやデータが表示されます。
- ③ リモコンの録音ボタンを押すと右図のメニュー画面が表示されます。リモコンの方向ボタンで黄色のハイライトを好きなトラック番号に移動させて録音したいフォルダやデータが表示できている状態にします。
- ④ 削除したい曲(データ)を選択して決定します。
 - ・ USBメモリの一部を削除したい場合は、黄色のハイライトを好きなトラック番号に移動させて録音ボタンを押します。選択されると曲名(データ名)の後ろにチェックマーク「✓」が表示されます。もう一度決定ボタンを押すと選択が解除されます。
 - ・ USBメモリの全てを削除したい場合は、録音ボタンを押して黄色のハイライトを「すべて選択」に移動させて決定ボタンを押します。
 - ・ 選択した曲を全て取り消したい場合は、黄色のハイライトを「すべて取消」に移動させて決定ボタンを押します。
- ⑤ 「消去」に黄色のハイライトを移動させて決定ボタンを押すと、データの削除が開始されます。
- ⑥ 削除が終了すると自動的に停止し、手順③の画面表示に戻ります。
- ⑦ USBメモリの別のデータを続けて削除したい場合は手順③から再度行います。
- ⑧ USBメモリを抜き取ります。



トラブルシューティング

まず下表でご確認ください。修理に出す前にもう一度、取扱説明書をお読みになってください。

故障状況	原因および解決方法
選曲できない	<ul style="list-style-type: none"> ●ディスク・USBメモリーによっては、部分的に設定された再生順序を変更できないものがあります。
音が出ない	<ul style="list-style-type: none"> ●テレビとスピーカーの電源がオンになっているか、または正しく設定されているか確認してください。 ●接続ケーブルのプラグがしっかり差し込まれているか、断線していないか確認してください。 ●テレビスピーカーが本機の音声を選択しているか確認してください。 ●システム・リモコンでミュート(消音)を選択していないか確認してください。 ●ディスクの音声選択があっているか確認してください。 ●以下の状態では音は出力されません。 スロー再生、一時停止、ステップ、早送り、巻き戻しなど。
サラウンドから音が出ない	<ul style="list-style-type: none"> ●デジタル出力・スピーカーの設定が正しいか確認してください。 ●アンプの電源またはスピーカーがオンになっているか確認してください。
CDが正しく再生されない／曲頭数秒が再生されない	<ul style="list-style-type: none"> ●コピーコントロールCDの可能性がございます。弊社では再生保証を致しかねます。
MP3ディスク／USBメモリー／の音が出ない、または雑音がある	<ul style="list-style-type: none"> ●システム接続が正しいか確認してください。 ●ディスクにキズがついていませんか？ ●本機非対応の仕様のデータである可能性がございます。本書「メディア／ファイルについて」をご参照下さい。
リモコンが効かない	<ul style="list-style-type: none"> ●リモコンと機器間に障害物はありませんか？ ●リモコンがリモコン受光部に向いていますか？ ●リモコンの電池が正しく装着されているか確認してください。 ●リモコンの電池を交換してください。 ●画面に「無効なキー」と表示される場合は、そのディスクでは操作できない操作をしている可能性があります。
電源が切れる	<ul style="list-style-type: none"> ●本機はオートパワーオフ機能を採用しております。映像及び音声動作しない状態で5分ほどたつと自動的に電源がオフになります。一時停止で30分ほどたった場合もオフになります。
読み込み中に電源が落ちて、何の操作も反応しない	<ul style="list-style-type: none"> ●本機主電源が入った待機状態での常設などで、本機に電気が帯電している可能性がございます。本機の主電源を手動で切った後、電源コンセントを抜いて2～3時間放置して放電してください。再度本機を設置してお試し下さい。 (日頃ご利用にならない際は、本機の主電源をお切り下さい)

HDMIについて

[テレビにHDMIケーブルで接続する場合のご注意]

- ・ テレビによっては、一部の解像度が表示されないことがあります。テレビの画面に解像度が表示されます。お持ちのテレビの取扱説明書をご確認ください。
- ・ HDMIケーブルが接続されていれば、HDMI出力が自動的に選択されます。
- ・ 本機をHDMIケーブルでテレビに初めて接続した際や新しいテレビと接続した際は、HDMI出力解像度は自動的にテレビの最高解像度に設定されます。また、解像度が切り換わる際に、画面が乱れることがあります。
- ・ 本機はHDMI対応機器との接続を目的として設計されています。DVI機器に接続すると正しく動作しないことがあります。
- ・ お持ちのテレビがHDCP(High-bandwidth Digital Content Protection)をサポートしていない場合は、画面にノイズが生じます。

<HDCPとは>

HDCP (High-bandwidth Digital Content Protection) は、DVDコンテンツをHDMIからコピーされることを守るための機能です。映像情報 (PC、DVDなど) とディスプレイ機器 (テレビ、プロジェクターなど) 間の安全なデジタル通信を提供します。コンテンツは装置によって暗号化され不正にコピーされることを防ぎます。

ブロックノイズについて

- ・ DVDプレーヤーの演算処理能力を越えるときにブロックノイズが発生する場合があります。
- ・ ブロックノイズはDVDの映像記録方式 (MPEG) の性質上、完全に除去することは非常に困難です。
- ・ また、DVDディスクの記録面に傷や汚れがある場合、またはピックアップレンズが汚れている場合にもブロックノイズが発生します。ディスクやレンズの汚れは市販のディスククリーナーやレンズクリーナーを使用して対応していただけますようお願い致します。

コピーコントロールCDについて

- ・ CCCD (コピーガード付きCD) は、CDの標準規格に合致しませんので、弊社では再生保証を致しかねます。
- ・ CCCDの再生に支障がある場合はお手数ですが、ディスクの発売元にお問い合わせいただけますよう、お願いいたします。
- ・ また、標準規格外のディスクを再生し、その結果故障や不具合が発生した場合は保証期間内でも有償修理になります。何卒ご了承ください。

免責について

- ・ お客様または第三者が本製品の誤使用または使用中に生じた故障、またその他の不具合等を含め、本製品の使用によって受けられた損害については法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責を負いません。あらかじめご了承ください。
- ・ 当社が関与しない各種機器との組み合わせによる誤作動から生じた損害に関しまして、当社は一切その責を負いません。あらかじめご了承ください。
- ・ 本取扱説明書の記載を守らないことによる損害や事故に関しまして、当社は一切その責を負いません。あらかじめご了承ください。

仕様

信号方式	日米標準NTSCカラーテレビジョン方式	
音声信号対雑音比 (S/N比)	90dB以上	
ダイナミックレンジ	90dB以上	
ビデオ信号対雑音比 (S/N比)	56dB以上	
電源	AC100V 50/60Hz	
消費電力	14W	
外形寸法	幅225mm×高さ42mm×奥行234mm (突起部含まず)	
重量	約1.0kg	
使用条件	温度：5°C～35°C、動作姿勢：水平	
端子部	HDMI出力	ver.1.2対応
	映像出力	1.0V (p-p)、75Ω
	Sビデオ出力	Y：1.0V (p-p)、75Ω/C：0.3V (p-p)、75Ω
	コンポーネント映像出力	Y：0.7V(p-p)、Pb/Cb：0.7V(p-p)、Pr/Cr：0.7V (p-p)
	音声出力	2.0V± $\begin{matrix} 0.2V \\ 1.0V \end{matrix}$
	デジタル音声出力	光出力
付属品	HDMIケーブル …………… 1本 映像・音声接続コード …………… 1本 ワイヤレスリモコン …………… 1個 動作確認用電池 …………… 2個	

※設計および仕様は通知なしに、変更および更新することがあるので、ご注意ください。